



フードドライブへの協力を呼び掛けるポスターを手にする正田さん(左)ら。北名古屋役所で

北名古屋市は三十日、同市のピアゴ西春店で、余った食品を市民から回収して食料支援に活用するフードドライブを開く。

食品ロス削減への意識向上も狙い、市内の名古屋芸術大の学生たちがボランティアで参加する。当日は午前九時から正午まで食料を集める。

三十日の「食品ロス削減の日」に合わせて、初めて開催。缶詰やお菓子、調味料などを回

北名古屋市、30日開催

食品ロス削減へ フードドライブ

収する。集まった食料は、同市のNPO法人「フードバンク愛知」を通じて地域の子ども食堂などに分配される。

名古屋芸大では七月、市職員が食品ロスなどゴミ問題について講義しており、趣旨に賛同した学生が活動に加わった。芸術学部一年の正田未有さん(三〇)は、ポスターを制作。幅広い世代に呼び掛けたという市の依頼を受け、子どもや大人が、ペ

名古屋芸大生がポスター

ットボトル飲料などを持ち寄る姿を描いた。オレンジや緑を使い、明るい配色を意識したという正田さんは「親しみやすいデザインにした。皆さんに当事者意識を持ってもらえればうれしい」と話した。

市によると、三月に市内で実施した調査で、可燃ゴミとして出された中の11%が食品ロスだった。環境課の担当者は「フードドライブをきっかけに、食品ロスへの意識を変えてほしい」と呼び掛けた。(猿渡健留)